

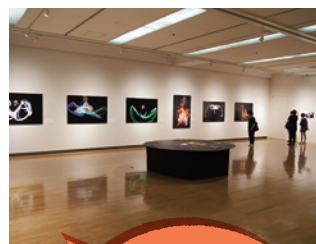
言葉を超えて 歓喜を伝える

「みえる かんじる 新しい第九」をもっと楽しむ関連イベントとして、2025年9月11日から16日まで、福岡アジア美術館8階・交流ギャラリーなどでインクルーシブなアート展を開催しました。光や手歌、映像で『第九』の歓喜を体験した様子をレポート！

「第九のきせき」写真展 (9/11~16) Event. 1



第九のメロディーが流れる中、フォトグラファーの田頭真理子さんが撮影した幻想的な写真が並ぶ写真展。白い手袋の光の軌跡を写し取った作品群は、言葉を超えて歓喜を伝える力にあふれていました。



来場者の感想

光の軌跡が美しく、
見入ってしまいました。
本番も見に行きたい！

来場者の感想 (ワークショップ)

見るよりやってみたら
もっと楽しかった！
コロんさんの人柄も
すてきでした。

来場者の感想 (フォトセッション)

こんな写真が撮れる
なんてびっくりです。
手歌と光の演出がとても
印象的でした。

「歓喜—Freude—」フォトセッション&手歌ワークショップ (9/15) Event. 2

写真展の作品と第九の歌詞を手掛かりに、コロんえりかさんが手歌をレクチャー。約70人が楽しそうに手を動かす中、続くフォトセッションで田頭真理子さんが喜びの瞬間を幻想的に写し出しました。



©Mariko Tagashira

©Mariko Tagashira



写真家

田頭 真理子 さん

撮影した写真は、freudegram (<https://www.instagram.com/freudegram/>) で閲覧できるほか、12月の本公演でも会場ロビーに展示されます。お楽しみに！



ホワイトハンドコーラス NIPPON
芸術監督

コロん えりか さん

第九の歌詞を手歌で分かち合うにつれ、皆さんの表情が輝きました。聞こえない人も音楽を楽しめるのがホワイトハンドコーラス。また12月にお会いしましょう！

「ホワイトハンドコーラス NIPPON Freude ! よろこびのうた」 (9/14・15) Event. 3

ホワイトハンドコーラスNIPPONの子どもたちに密着したドキュメンタリー映画を上映。手歌に出会い歌う喜びを知る姿に、来場者の多くが心を揺さぶられました。

来場者の感想

歌声だけじゃない“声”が
迫ってくるようで、
胸がいっぱいに
なりました。

